

【A年】

聖霊降臨後第四主日

特定八

神よ、あなたは天地万物をみ節理のうちに治めておられます。どうか、わたしたちを害する肉の行いを聖霊によつて除き、み心に従つて良い行いの実を結ぶことができるようにしてください。主イエス・キリストによつてお願いいたします。

アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書

朗読者 「旧約聖書はイザヤ書第二章十節から」

10 岩の間に入り、塵の中に隠れよ
主の恐るべき御顔と、威光の輝きとを避けて。

11 その日には、人間の高ぶる目は低くされ
傲慢な者は卑しめられ

主はただひとり、高く上げられる。

12 万軍の主の日が臨む

すべて誇る者と傲慢な者に

すべて高ぶる者に——彼らは低くされる——

13 高くそびえ立つレバノン杉のすべてに

バシヤンの樫の木はすべてに

14 高い山、そびえ立つ峰のすべてに

15 高い塔、堅固な城壁のすべてに

16 タルシシュの船と美しい小舟のすべてに。

17 その日には、誇る者は卑しめられ

傲慢な者は低くされ

主はただひとり、高く上げられる。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第八九編 一〜四、十五〜十八節

- 1 主よ、あなたの慈しみをとこしえに歌い＝ わたしの口
であなたのまことを世々に告げよう
- 2 その慈しみは変わることなく＝ そのまことは天に堅
く据えられた
- 3 あなたは仰せになった、「わたしの選んだ者と契約を結
び＝ 僕ダビデに誓って言った
- 4 『とこしえにお前の子孫を堅く立てる＝ お前の王座は
揺るぎなく、世々に及ぶ』
- 5 あなたをたたえることを知る民は幸せ＝ 主よ、彼ら
はみ顔の光に照らされてみ前を歩む
- 6 あなたの名をいつも喜び＝ あなたの正義によって高
く上げられる
- 7 あなたは彼らの力と栄光＝ その恵みでわたしたちの
角は高く上げられる
- 8 わたしたちの盾は主のもの＝ わたしたちの王は、イス
ラエルの聖なる方のもの

使徒書

朗読者 「使徒書はローマの信徒への手紙第六章三節から」

3 それともあなたがたは知らないのですか。キリスト・イエ
スに結ばれるために洗礼を受けたわたしたちが皆、またその
死にあずかるために洗礼を受けたことを。 4 わたしたちは洗

礼によってキリストと共に葬られ、その死にあずかるもの
となりました。それは、キリストが御父の栄光によって死者
の中から復活させられたように、わたしたちも新しい命に
生きるためなのです。 5 もし、わたしたちがキリストと一体
になってその死の姿にあやかるとなれば、その復活の姿にも
あやかれるでしょう。 6 わたしたちの古い自分がキリストと
共に十字架につけられたのは、罪に支配された体が滅ぼさ
れ、もはや罪の奴隷にならないためであると知っています。
7 死んだ者は、罪から解放されています。 8 わたしたちは、
キリストと共に死んだのなら、キリストと共に生きること
もなると信じます。 9 そして、死者の中から復活させられた
キリストはもはや死ぬことがない、と知っています。死は、
もはやキリストを支配しません。 10 キリストが死なれたのは、
ただ一度罪に対して死なれたのであり、生きておられるのは、
神に対して生きておられるのです。 11 このように、あなたが
たも自分は罪に対して死んでいるが、キリスト・イエスに結
ばれて、神に対して生きているのだと考えなさい。

朗読者 「使徒書を終わります。」

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖マタイによる福音書第十章三四節以下に記され

た主イエス・キリストの福音。主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

34 「わたしが来たのは地上に平和をもたらしためだ、と思つてはならない。平和ではなく、剣をもたらしために来たのだ。35 わたしは敵対させるために来たからである。

人をその父に、娘を母に、

嫁をしゅうとめに。

36 こうして、自分の家族の者が敵となる。

37 わたしよりも父や母を愛する者は、わたしにふさわしくない。わたしよりも息子や娘を愛する者も、わたしにふさわしくない。38 また、自分の十字架を担つてわたしに従わぬ者は、わたしにふさわしくない。39 自分の命を得ようとする者は、それを失い、わたしのために命を失う者は、かえってそれを得るのである。」

40 「あなたがたを受け入れる人は、わたしを受け入れ、わたしを受け入れる人は、わたしを遣わされた方を受け入れるのである。41 預言者を預言者として受け入れる人は、預言者と同じ報いを受け、正しい者を正しい者として受け入れる人は、

は、正しい者と同じ報いを受ける。42 はつきり言っておく。わたしの弟子だという理由で、この小さな者の一人に、冷たい水一杯でも飲ませてくれる人は、必ずその報いを受ける。」

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」